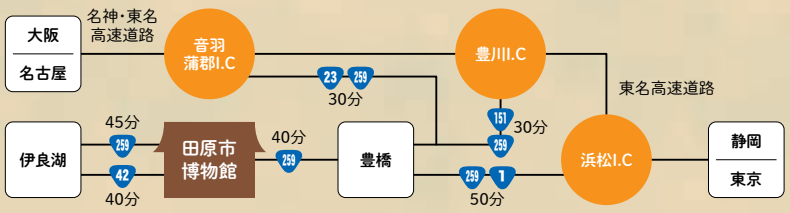
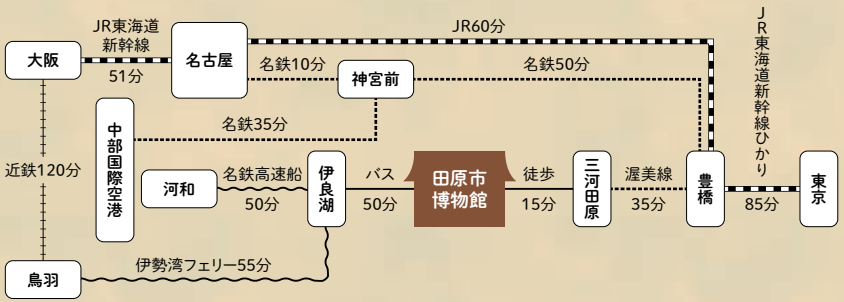
アクセス

お車をご利用



公共交通機関をご利用



渥美半島の歴史・文化についてさらに詳しく知りたい方へ

- 田原の文化財ガイド1
  田原市のはじまり／旧石器・縄文時代のたはら
- 田原の文化財ガイド2
  ふるさとの偉人を訪ねる／田原を築いた人びと
- 田原の文化財ガイド3
  渥美半島の城館 完売
- 田原の文化財ガイド4
  渥美半島の自然を知る
- 田原の文化財ガイド5 完売
  渥美半島の戦争遺跡
- 田原の文化財ガイド6
  渡辺崋山

田原市博物館にて販売中

発　行 | 田原市文化遺産地域活性化実行委員会
問合せ | 田原観光情報サービスセンター TEL.0531-23-2525
田原市博物館 TEL.0531-22-1720
制　作 | 株式会社シンプリ

文化庁
令和6年度
地域文化財総合活用推進事業
令和7年2月

巡ってみよう

渥美半島

文化遺産・文化財ガイドブック

田原市文化遺産地域活性化
実行委員会 編

巡ってみよう

渥美半島

文化遺産・文化財ガイドブック

CONTENTS 目次

03 田原城と渡辺崋山
05 縄文文化を育んだ渥美半島
07 渥美窯
09 田原まつり・田原凧
10 伊良湖岬と文学
11 渥美半島の自然
13 渥美半島の食文化
14 巡ってみよう渥美半島

田原城と渡辺崋山

三河湾支配の拠点となった田原城と江戸時代後期に活躍した田原藩の藩士・渡辺崋山

三河湾支配の拠点 田原城

田原城は1480（文明12）年頃、戸田宗光によって築城。当時は城域が海に囲まれ、その湾の形から「巴江城」とも呼ばれていました。現在は石垣、堀、土塁の一部などが残っており、桜門と二の丸櫓が復元され公園として整備されています。

地図C-4

＼田原城御城印／

田原市博物館で販売中

地図C-4

併設の池ノ原会館では、茶席も楽しめる

渡辺崋山 池ノ原幽居跡（池ノ原公園）

市文化財

渡辺崋山が無実の罪により蟄居を命じられ、晩年を過ごし自ら果てた屋敷跡。

住 田原市田原町中小路17　P 有
TEL 0531-23-2446（池ノ原会館）

地図C-4

御朱印も大人気!!

崋山神社

田原城出丸跡に建てられた崋山神社。崋山の遺徳をしのび、命日の10月11日に大祭が開催されます。

住 田原市田原町巴江12-1　P 有
TEL 0531-22-1700（崋山会館）

地図C-4

田原市博物館

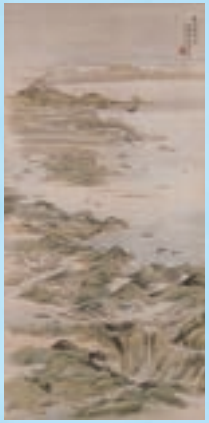
田原城二の丸跡に建設された「田原市博物館」。渡辺崋山、田原藩をはじめとする市の歴史資料が多数展示され、田原市の歴史を紹介するシンボルとなっています。

住 田原市田原町巴江11-1
営 9:00－17:00（最終入館16:30）
休 月曜日（祝日の場合は翌平日）、展示替日、年末年始
¥ 一般310円／小学生150円（企画展等の場合は別に定める）
P 有　TEL 0531-22-1720

渡辺崋山

学者、画家、政治家として活躍

渡辺崋山は、1793（寛政5）年、江戸の田原藩上屋敷（現最高裁判所付近）で生まれました。8歳から藩に仕え、鷹見星皐や佐藤一斎、松崎慊堂らから、朱子学や陽明学を学びました。幼少の頃から絵画にも親しみ、すぐれたデッサン力をもとに、独特の描線と西洋画の遠近法などをとり入れ、多くの名作を世に送りだしました。40歳で藩の家老職に就いてからは、田原藩の政務に貢献。義倉「報民倉」を設け、天保の飢饉のときに1人の餓死者もださなかったことは有名です。また一方では、高野長英らと西洋事情を研究し、鎖国の非を『慎機論』で記しましたが、幕政批判とされ田原で蟄居を命じられました。藩に災いが及ぶのを恐れ1841（天保12）年、49歳で自刃しました。



重要文化財「千山万水図」
1841（天保12）年

重要文化財「一掃百態図」
1818（文政元）年

崋山の作品　国文化財

江戸時代から残る田原城跡に続く道 歴史ウォーキングトレイル

地図C-4

城主・三宅家の菩提寺
霊巌寺

地図C-4

渡辺崋山の菩提寺
城宝寺

地図C-4

芭蕉の句碑がある
龍泉寺

こちらよりウォーキングトレイルマップにアクセス

3,000年前から貝が好き

縄文文化を育んだ渥美半島

吉胡貝塚

国文化財

縄文人骨の出土日本一!?

縄文時代の後期末・晩期の日本を代表する貝塚遺跡で、貝層の範囲は4500㎡にも及ぶ。1922・1923（大正11・12）年の京都大学の清野謙次、1951（昭和26）年の文化財保護委員会（現文化庁）の発掘調査で340体を超える縄文人骨のほか、縄文土器・石器・骨角器・動物遺体等、多数の遺物が出土し、考古学や人類学の研究に大いに貢献しました。

シェルマよしご
（吉胡貝塚資料館／吉胡貝塚史跡公園）

貝塚の断面・平面の展示のほか、縄文の人々の暮らしについて出土品、模型、写真で分かりやすく説明しています。
貝のアクセサリーづくりや火おこしなど縄文体験も人気。

住 田原市吉胡町矢崎42-4
営 9:00－17:00（最終入館16:30）
休 月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始
¥ 一般200円／小中学生100円　P 有
TEL 0531-22-8060

吉胡貝塚資料館

人骨出土状況

伊川津貝塚

県文化財

伊川津町郷中全体に広がる大貝塚です。神明社の境内では、貝が1m以上の厚さで堆積したところもあります。貝塚からは、縄文時代後期から晩期の遺物や人骨が出土し、中でも叉状研歯のある頭骨や有髯土偶は全国的に有名です。

住 田原市伊川津町郷中87-1、87-2（伊川津神明社）
P 無

叉状研歯が施された頭骨（複製）

有髯土偶（複製）

川地貝塚

亀山小学校の東側に広がる縄文時代後期を中心とする貝塚です。貝層はほとんど削られて残ってはいませんが、過去の調査で縄文土器・石器・骨角器・動物遺体等が出土しています。この貝塚の特徴は、石錘が多いことやこの地域では珍しい土面（粘土で作った仮面）が見つかっていることです。

保美貝塚

市文化財

免々田川西岸の台地上に広がるこの貝塚は、縄文時代中期頃から弥生、古墳各時代の遺物が出土しています。出土品の中には人骨をはじめ叉状研歯のある頭骨・土器・骨角器・石器、銅鏃などがあり、盤状集骨墓という珍しい埋葬の方法も見られました。また、北陸で見つかっている環状木柱列が発掘調査で見つかっており、北陸との繋がりも考えられます。

住 田原市保美町平城117
P 無

骨角製装身具（腰飾り、髪飾り、頭形製品）

渥美窯

平安時代終わりから鎌倉時代に営まれた、幻の窯群

地図C-1

奈良東大寺鎌倉再建時の瓦を焼いた窯跡

伊良湖東大寺瓦窯跡

国文化財

伊良湖東大寺瓦窯跡出土品

県文化財

平安時代末期から鎌倉時代に活発な生産活動が展開された渥美窯のひとつで、3基の窯跡が保存されています。「東大寺大佛殿瓦」と刻印された軒丸瓦や軒平瓦などの瓦や瓦経、瓦塔などの宗教用具が出土しています。

住 田原市伊良湖町瓦場358-14
P 有（初立池公園）

地図B-4

百々陶器窯跡

国文化財

窯業の研究が進んでいなかった指定当時（1921年）は、奈良時代の窯跡とされていましたが、他と同様に中世の窯跡です。我が国の窯業史を考えるうえでも重要な史跡として有名。台地の南斜面にトンネル状に構築された窯が、一部天井を遺して残っています。甕、壷、碗が焼かれていました。

住 田原市六連町一本木11-4
P 無　! 歩行注意

大アラコ古窯跡

国文化財

平安時代末期、当時の三河国司藤原顕長の銘入り壺が焼かれた窯跡。ここで焼かれた製品には奥州平泉の藤原氏のもとまで運ばれたものもあります。渥美半島窯業の繁栄を示す貴重な窯跡です。

住 田原市芦町郷津
P 無

地図B-3

地図B-2

地元の考古・歴史資料が揃う

渥美郷土資料館

貝塚や窯跡などの遺跡から発掘された考古資料、江戸から昭和にかけての歴史資料などが展示されています。

住 田原市古田町岡ノ越6-4
営 9:00－17:00（最終入館16:30）
休 月曜日（祝日の場合はその翌平日）、年末年始
¥ 無料　P 有　TEL 0531-33-1127（田原市博物館に転送）

地図C-2

皿焼12号窯（皿焼古窯館、渥美運動公園内）

市文化財

渥美窯のひとつ『皿焼古窯跡群』（13基）の中で最も状態が良かった「12号窯」を保存したものです。日常生活品や特殊製品を焼いた渥美窯の構造が見られる唯一の施設です。

住 田原市小塩津町後山1
営 9:00－17:00（最終入館16:30）
休 月曜日（祝日の場合は翌平日）、年末年始　P 有
TEL 0531-38-0111（渥美運動公園）
! 見学の際は、渥美運動公園事務室で受付が必要です。

地図B-4
坪沢10号窯出土品

坪沢古窯群

かつて産地不明の幻の「黒い壷」と呼ばれた蓮弁文壷が焼かれたとして、渥美窯の名を全国に知らしめた窯跡です。渥美窯成立の時期から終末期まで続いた渥美半島最大の窯群です。うち5基が発掘され、大甕・長頸壷・短頸壷・広口壷・山茶碗など種類・量共に多くのものが出土しました。

惣作古窯群

地図B-4

12～13世紀に築かれた、主に碗・皿類を焼いた21基の窯が確認されています。そのうち10号窯からは、ざれ歌が刻まれた碗（市指定）が出土しました。碗の外面には、植物と男女の赤裸々な情愛の歌が刻まれ、全国的にも珍しいものです。

市文化財
ざれ歌の碗（刻字・刻文碗）
惣作10号窯

地図C-2

皿山古窯群

県文化財

皿焼古窯が立地する山の東側斜面に築かれた窯跡で、8基のうち3基が調査されています。日常生活に使われた山茶碗や小皿、甕、子持器台や香炉といった宗教用具などが出土しています。窯の保存状態が良好な窯跡です。

田原まつり・田原凧

渥美半島の文化として江戸時代から伝承されている田原まつりと田原凧

地図C-4

市文化財

田原まつり会館

からくり山車や田原凧の展示を中心に、市内の主な祭りを紹介しています。

住 田原市田原町稗田17
営 10:00－16:00(最終入館15:30)
休 月曜日(祝日の場合はその翌平日)、年末年始
¥ 無料　P 有　TEL 0531-22-7337

田原の夏をしめくくる

田原まつり

「からくり人形」を乗せた山車で広く知られている「田原まつり」。毎年9月中旬の3日間にわたり開催されます。子どもが手踊りを舞う夜山車や手筒花火なども披露されます。本町、新町、萱町の山車からくりは、市の有形文化財に指定されています。

端午の節句に願いを込めて

田原凧けんか凧合戦・初凧

市文化財

子どもの健やかな成長を願い初凧をあげたのがはじまりとされる「凧まつり」。毎年5月の第4土曜日・日曜日に開催されます。「けんか凧合戦」では、凧糸にガラスの粉を付けて鮮やかな糸さばきで互いの凧糸を切りあいます。

伊良湖岬と文学

多くの和歌や歌が詠まれた渥美半島

地図C-1

伊良湖岬灯台

1929(昭和4)年に開設されたこの灯台は、光度1万7千カンデラで、潮騒が聞こえる半島の先端に立っています。海の難所といわれる「伊良湖渡合(伊良湖水道)」で対する神島灯台とともに行き交う船舶の安全を守っています。「日本の灯台50選」のひとつです。

地図C-1

いのりの磯道

漁夫歌人糟谷磯丸の詠んだ様々な「まじない歌」などが並ぶ「いのりの磯道」。まじない歌は、当時の人々の祈り、困り事の解消、願い事などを歌にしたものです。

地図C-1

万葉の歌碑

伊良湖岬の先端、灯台背後の古山斜面にこの歌碑は建てられています。碑面には、天武朝の皇族麻続王が伊良湖に流された時に詠まれた歌「うつせみの命を惜しみ浪にぬれ伊良湖の島の玉藻刈り食す」(万葉集巻一)が田原市出身の書家で文化功労者鈴木翠軒の揮毫により刻まれています。

日出の石門がロケ地になりました！

2023年NHK大河ドラマ「どうする家康」では、松平元康(後の徳川家康)が海へ逃げ出すシーンで、日出の石門がロケ地になりました。

地図C-1

芭蕉翁之碑(芭蕉園地)

ゴルフ場入口近くの岩上に「鷹一つ見つけてうれし伊良湖崎」と刻まれた芭蕉の碑があります。これは、芭蕉が1687(貞享4)年に保美隠棲中の愛弟子杜国と共に伊良湖を清遊した時の句で、この地方の俳人が杜国百年忌を記念して1793(寛政5)年に建立したものです。

地図C-1

「椰子の実」記念碑

1898(明治31)年、民俗学者柳田國男が恋路ヶ浜で拾った椰子の実の話を親友島崎藤村に語り、「椰子の実」の詩が生まれました。1936(昭和11)年には、大中寅二の作曲により国民歌謡となりました。ここには、詩・曲二つの記念碑が揃って建てられています。

渥美半島の自然

多様な植物と
ジオサイトの宝庫

地図C-1

ハマボウの野生地

県文化財

西南暖地の海岸付近に自生する落葉樹で、初夏から8月にかけて、むくげに似た黄色の花を咲かせます。指定当時は、この自生地が分布の北限とされていました。

地図C-1

ハマセンダン

市文化財

近畿以西の暖地の海岸近くに生育する南方系の半落葉樹です。8月から9月にかけて、白く緑っぽい小さな花を咲かせます。県内では他に見られず、その生育の北限とみられ、樹齢はおよそ500年と推定されています。

地図C-1

宮山原始林

国文化財

宮山は、県の最南端近くにあって、高温多湿のため草木がよく茂り、原生林の状態を保っています。樹木は、暖地性常緑闊葉樹を主として、常緑植物と陰地性の草木が密生し、典型的な海岸暖地性の常緑樹林となっています。

伊勢湾周辺のみ自生

シデコブシ

シデコブシは、モクレン科に属する落葉小喬木で、高さ2～3mに達します。湿地を好み3月中旬から4月初旬頃、白やピンク色の花をつけます。その分布は非常に限られており、愛知県や岐阜県、三重県の主に伊勢湾周辺のみに自生し、ほかの地域ではほとんどみられません。

シデコブシ開花情報

地図A-3

市文化財

東海地方最大級

藤七原湿地植物群落

衣笠山の東北斜面にある広い湿地です。ヌマガヤ群落、ヒトモトススキ群落があります。シデコブシの群生地として、東海地方最大級の規模を誇っています。

住 田原市田原町衣笠1-1、椿沢17、17-1、34

P 有

約200株が自生

椛のシデコブシ自生地

住 田原市伊川津町椛 ※石神交差点に案内看板あり

P 有

国文化財

地図B-2

地図B-3

県文化財

日本一小さいトンボも!

黒河湿地植物群落

シデコブシやヤチヤナギ、シラタマホシクサなどの貴重な植物が数多く群生しています。湿地には、ハッチョウトンボなども生息しています。

住 田原市大久保町黒河49-1、49-7

P 有

伊川津のシデコブシ

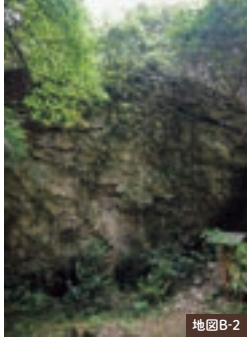
住 田原市伊川津町椛 ※石神交差点に案内看板あり

P 無

県文化財

地図B-2

画像提供:m_cute_j23(Instagram)


地図B-2

鸚鵡石

伊川津町椛にある高さ15m、幅15mのチャートからなる巨大な岩です。石の表面には、斜めに走る岩と岩が擦れ合った時についた跡と表面のささくれを見ることができます。石の名前の由来は鸚鵡が人まねをするように音を反響させるという言い伝えによるものです。

住 田原市伊川津町椛　P 無

光岩(鏡肌の岩)

県文化財

赤羽根町西山標高約120mの北側斜面に位置し、断面は高さ9m、幅22m、岩体は中生代に形成されたチャートです。断層運動の熱によって生じる、光沢を帯びた断面は鏡肌と呼ばれます。この光岩は保存状態もよく、日本でも第一級の規模のものです。

住 田原市赤羽根町西山1-5　P 有　! 歩行注意

地図B-3

チャートとは?

海の底に放散虫や海面動物などの微生物の死がいが堆積したものが、岩石になったものです。およそ3～1.5億年前に作られました。

地図A-4

蔵王山

標高250mの蔵王山の地質は周辺の山々と同じチャートでできており、泥岩や石灰岩が見られるところもあります。麓の権現の森から登山を楽しむことができ、山頂の蔵王山展望台からは渥美半島を一望できます。

住 田原市浦町蔵王1-46(蔵王山展望台)

営 9:00－22:00

P 有

℡ 0531-22-0426

地図C-3

一色の磯

この磯は北側にある山が長い年月をかけて浸食され硬い岩だけが残ったもので、山と同じ岩石チャートからできています。岩礁が波間に点在するその姿は自然の景観としてすばらしいものです。

住 田原市高松町

地図C-1

日出の石門

太平洋の荒波が打ち寄せ、長い年月をかけて中央が空洞となった奇岩。日出の時刻には美しいシルエットが見られます。石門は層状に堆積したチャートなどからなります。

住 田原市日出町

渥美半島の食文化

海もあり山もあるという自然に恵まれた渥美半島
特徴的な環境と先人の知恵から生まれた地域のごちそう

あさりの押し寿司

お祭りなどのハレの日に、特に海沿いの地域で家庭料理としてつくられていました。

あらめと地豆の煮物

昆布の一種のあらめと落花生を甘辛く煮込んだもの。オスのあらめは表面がなめらか、メスのあらめは表面にギザギザがあります。

おおつもごのごっつおう

渥美半島に古くから伝わる料理。大晦日に大鍋いっぱいにつくり、正月中に温めなおして食べます。何度も温めなおすので、味がしみておいしくなります。

じょじょ切り

米粉の代わりに小麦粉を使ったおしるこ。田植えや稲刈りの後の農上がりに、甘味のあるもので疲れをとったといわれています。

渥美半島の
＼食文化の参考図書／

伊良湖集落移転
100周年記念誌
伊良湖誌

野菜

環境を活かし、先人の知恵と技術により日本有数の農業地帯となりました。

魚介

北は三河湾、南を太平洋に面しているため、海の恵みが豊富で、のり等の養殖も盛ん。

肉・牛乳

肉牛、酪農、養豚、養鶏と幅広く畜産業が営まれています。

巡ってみよう渥美半島

田原市文化遺産地域活性化実行委員会

2024年度 活動報告

海に囲まれた渥美半島には、後期旧石器時代から近代までの遺構や出土品、特徴的な樹木・植物群落、そして地元で伝承されてきた伝統文化があります。このような文化財は、渥美半島の歴史の中で生まれ、はぐくまれ、守り伝えられてきた貴重な財産です。実行委員会では、こうした文化財を、地域の宝としてみなさんに紹介しています。

おもてなしガイド養成講座

渥美半島の文化遺産を守り・伝え・継承していくことをめざした養成講座の開催。

田原凧の普及活動

市指定文化財「田原凧けんか凧合戦・初凧」を次世代に継承。

- 凧の学校はやぶさ運営事業
- 田原凧・祝い舞うプロジェクト
- 子ども凧まつり
- 凧の絵本作成

渥美半島文化遺産スタンプラリー

渥美半島の文化財に触れるをテーマに3か所の道の駅と12か所の文化財、4つのイベントを紹介。

渥美窯の普及活動

中世に栄えた渥美窯の歴史と、作陶体験をとおした地域の文化紹介。

- 渥美窯講習会

山車とからくり人形の普及活動

市指定文化財「田原祭山車とからくり人形」を広くPR。

- 田原まつり普及啓発